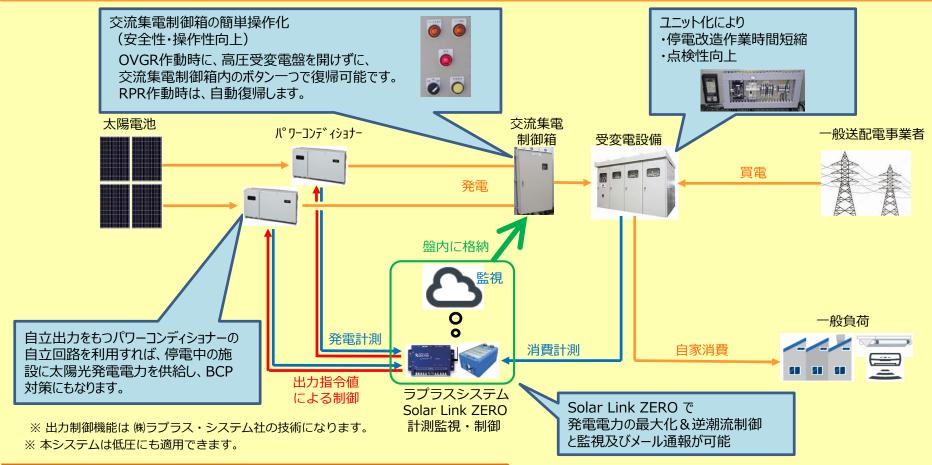


自家消費型太陽光発電システム

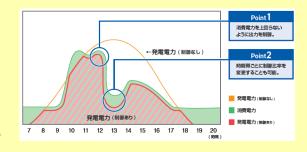


電力料金等コスト削減

- ・固定価格買取制度(FIT)による全量売電価格の低下
- ·使用電力従量料金に加算される再生可能エネルギー発電促進賦課金は上昇基調⇒売電電力単価と購入電力単価が逆転
- ・FIT売電には、出力抑制による売電収入の減額、連系対策工事負担金額の上昇、送配電託送料金の発電側基本料金負担(案)といった初期計画時には見込めない収支悪化要素が今後拡大していく可能性あり
- ・自家消費型なら、固定価格買取制度(FIT)による売電方式と違い、活用できる補助事業あり
- ・太陽電池モジュール等、初期投資費用が低下 ※但し、直近1年は高騰傾向
- ⇒自家消費型太陽光発電システム導入の利回りと電力料金削減のメリットが大きくなっています。

発電電力を最大化&逆潮流抑制

- ・発電過多になると逆潮流が発生し、パワーコンディショナーが停止 (電力会社との契約上)
- ・発電過多を避けるために発電量を抑えすぎると、発電システムを有効活用不可能
- ⇒施設の消費電力を上回らないように発電電力を適切に制御し、有効活用します。



申請簡略&導入までのリードタイム短縮

- ・固定価格買取制度(FIT)による売電と違い、経済産業局に 提出する「事業計画認定申請書」の提出は不要
- ・一般送配電事業者に提出する「接続検討申込書」の回答までの 期間(一般送配電事業者の検討期間)が短縮または省略



CSRにも貢献

- 大陽光発電システムで発電した電力はCO₂排出量0(ゼロ)
- ・太陽光発電を自家消費することで施設のCOっ排出量を削減でき、CSR貢献、RE100へ前進
 - ※ C S R: Corporate Social Responsibility (企業の社会的責任)
 - ※RE100: 「Renewable Energy 100%」の略

・ Trechewable Energy 100 /01/05-1 (使用する電力の100%を再生可能エネルギーにより発電された電力にする事に取り組んでいる企業が加盟している国際的な企業連合)

納入実績

冷凍設備のあるスーパー店舗、物流センター、食材センターの他、産廃処理施設、板金工場等に 自家消費型太陽光発電システムを納入した実績がございます。



荏原商事提案自家消費型太陽光発電の特徴

1. 既設高圧受変電盤機能増設のユニット化(点検性向上・仮設準備の軽減)

停電作業を短時間で実施

通常業者作業3時間程度+主任技術者リレー動作試験1時間程度のところを 当社作業1~2時間程度+主任技術者リレー動作試験1時間程度

2. 交流集電制御箱の簡単操作化(安全性・操作性向上)

OVGR発生時に高圧受変電盤を開けずに、交流集電制御箱内のボタン一つで復帰可能

3. PCSメーカに縛られないトータルシステム提案

他メータのシステム技術をトータル的に確認し、最適なシステムを提案可能 (出力抑制に最適な機種・既存設備にあった提案)

自家消費型太陽光発電計画についての準備資料

●事前見積・提案書作成にあたって

- 1. 設置場所の住所
- 2. 敷地内電気設備機器配置図
 - →既設高圧受変電設備・交流集電制御箱・太陽光パネル等の設置検討場所が分かるもの
- 3. 既設高圧受電設備の単線結線図および仕様書(盤図)
- 4. 屋根伏図、建築仕様表、立面図、断面図
 - →パネル設置に伴う屋根の形状、面積、勾配の分かるもの
- 5. (最低でも)毎月の電気使用料金請求書1年分
 - (可能なら) 30分電力デマンドのデータ1年分
 - →電力会社に問い合わせすれば1年分入手可能です。

●詳細見積作成にあたって(現場調査及び申請確認)

- 1. 配線ルートの確認及び影等の確認
- 2. 既設高圧受電盤空スペース確認
- 3. 太陽光パネル設置による屋根の耐荷重など構造検討は別途とします。
 - →建築設計事務所にご確認願います。
- 4. 電力会社申請にあたっての電力会社との確認
 - →自家消費なら、RPRを付ければまず大丈夫ですが、念のための確認です。

自家消費型太陽光発電システムの EPC、機器調達、設計、工事、O&M、補助金活用

荏原商事にお任せください!



お問い合わせ先: 荏原商事株式会社 事業統括 ソリューション統括部 エネルギーソリューション課

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-9-10

茅場町ブロードスクエア5階 TEL: 03-5645-0155 FAX: 03-5645-0158

